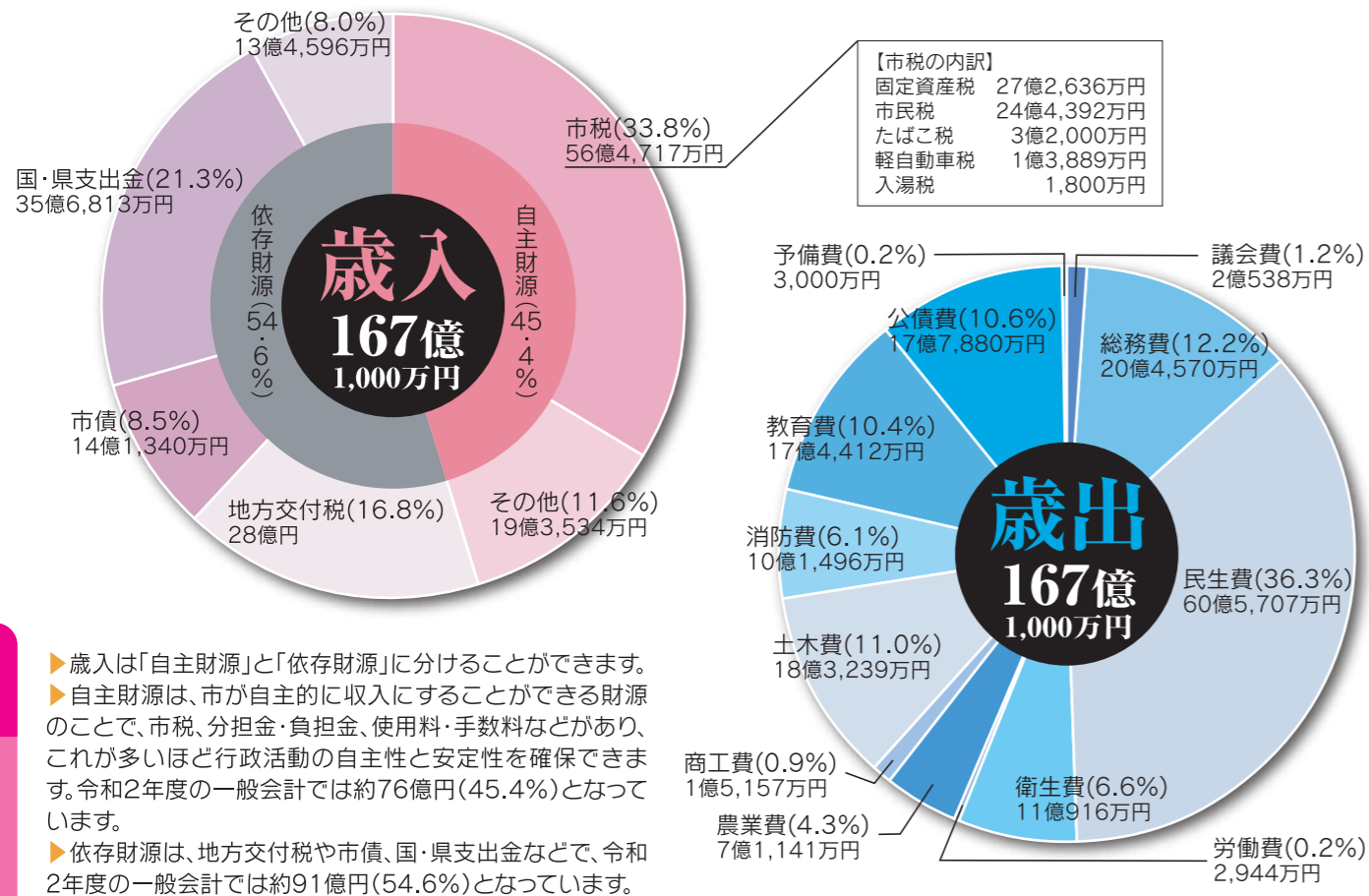


一般会計予算167億1,000万円の使いみち



▶歳入は「自主財源」と「依存財源」に分けることができます。
 ▶自主財源は、市が自主的に収入にすることができる財源のことで、市税、分担金・負担金、使用料・手数料などがあり、これが多いほど行政活動の自主性と安定性を確保できます。令和2年度の一般会計では約76億円(45.4%)となっています。
 ▶依存財源は、地方交付税や市債、国・県支出金などで、令和2年度の一般会計では約91億円(54.6%)となっています。

特集1：令和2年度 下妻市の予算

第6次総合計画に定められた「人と自然を活かし、住みよさを創るまちしもつま～住み続けたい、選ばれるまちを目指して～」の将来像のもと、6つの『まちづくりの目標』の実現に向けて予算を組み立て、総合的、計画的な市政運営を進めていきます。



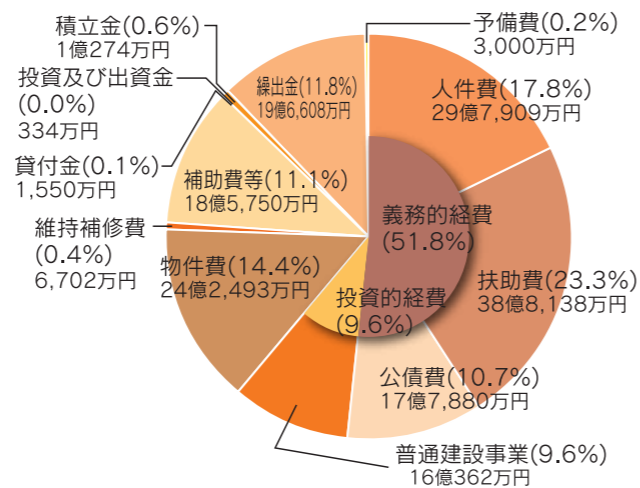
区分	今年度予算額	前年度予算額	増減率(%)	
一般会計(1)	167億1,000万円	167億9,500万円	-0.5	
特別会計	国民健康保険	47億8,200万円	53億1,700万円	-10.1
	後期高齢者医療	4億6,800万円	4億4,100万円	6.1
	介護保険	36億8,700万円	34億6,700万円	6.3
	介護サービス事業	750万円	780万円	-3.8
	下水道事業	—	10億2,200万円	—
計(2)	89億4,450万円	102億5,480万円	-12.8	
公営企業会計	水道事業	21億6,489万円	15億7,985万円	37.0
	下水道事業	14億4,746万円	—	—
計(3)	36億1,235万円	15億7,985万円	128.7	
合計(1)+(2)+(3)	292億6,685万円	286億2,965万円	2.2	

※令和2年度から下水道事業会計は特別会計から公営企業会計へ移行

歳出(性質別)

167億1,000万円

義務的経費…議員の報酬や職員の給与、扶助費、市債の返済など、毎年必ず支出しなければならないお金
投資的経費…道路、学校などの建設や大規模改修など都市基盤の整備にかかるとるお金



歳出(性質別)

- ・人件費：議員の報酬や職員の給与など
- ・扶助費：生活保護費、障害者支援費などの福祉や医療など
- ・公債費：事業を行うために国や金融機関から借り入れた市債(借金の返済金)
- ・普通建設事業費：道路や学校などの整備など
- ・物件費：光熱水費や消耗品費、通信運搬費、委託料など
- ・維持補修費：施設の維持管理など
- ・補助費等：一部事務組合に対する負担金や各種団体への補助金など
- ・積立金：各種基金(貯金)へ積み立てるお金
- ・投資及び出資金：水道事業会計への出資金など
- ・貸付金：市が一時的に貸し付けるお金
- ・繰出金：国民健康保険や介護保険などの特別会計の収入を補うためのお金
- ・予備費：緊急に支出を要する場合に備えるお金

歳入

自主財源

・市税：市民の方から市に納めていただく税金
 ・その他の自主財源：分担金、負担金、使用料、手数料、繰入金、財産収入、寄附金、繰越金、諸収入など

依存財源

・地方交付税：国が集めた税金から、全国の地方自治体が一定水準の行政サービスを提供できるように財政力の低い団体に交付されるお金
 ・国県支出金：特定の目的のため、国や県から交付されるお金
 ・市債：特定の目的のため、国や銀行から借入れるお金
 ・その他の依存財源：地方譲与税、地方消費税交付金、地方特例交付金、利子割・配当割交付金、交通安全対策特別交付金、株式等譲渡所得割交付金など

歳出(目的別)

・議会費：議員の報酬や議会の運営など
 ・総務費：市政全般の管理など
 ・民生費：高齢者・障害児者・児童などの福祉(保育所など)
 ・衛生費：健診や予防接種、ごみ処理など
 ・労働費：労働者のための施設の設置管理など
 ・農業費：農林業の振興、農道整備など
 ・商工費：商工業の振興や観光推進など
 ・土木費：道路・河川・住宅・公園などの公共施設の整備や維持管理など
 ・消防費：火災や地震、風水害対策や消防施設など
 ・教育費：学校や体育施設の建設管理、生涯学習、文化財保護など
 ・災害復旧費：災害により被災した道路や施設などの復旧など
 ・公債費：市債の返済金
 ・予備費：緊急に支出を要する場合に備えるお金

用語の説明